

2018年3月30日

省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度
『ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017』において
『優秀賞』、『特別優秀企業賞』、『貢献賞』を受賞

株式会社LIXIL住宅研究所
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する、省エネルギー性の優れた住宅を選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017」において、アイフルホームの『セシボ』及びアイフルホームが、下記の通り受賞しましたのでお知らせします。

◆受賞内容◆

カンパニー名	アイフルホーム
受賞名 商品名	優秀賞 「セシボ」 ＜受賞対象地域＞1-7 地域※1
特別表彰	特別優秀企業賞 貢献賞※2

※1省エネルギー基準による地域区分

※2省エネ性に優れた住宅を多数建てて普及に貢献したことを評価する賞

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO₂削減等に貢献する住宅の普及と快適な住まいの実現に貢献することを目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。



今回、各賞を受賞したアイフルホームは、断熱性・気密性に優れた躯体性能をベースに、独自の通風・創風・採光などのパッシブエネルギーの活用、無駄な電気の使用を抑えるためのHEMSや蓄電池などの提案を行っており、住まい手が快適に過ごせる工夫を取り入れた住まいづくりに取り組んでいます。

LIXIL住宅研究所は、今後も、商品やサービスを通じて、安心・安全で健康・快適に暮らせる住生活の未来に貢献します。

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明(チギラ)

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

アイフルホームホームページ/TOP URL:<http://www.everfulhome.jp/>

【参考】アイフルホーム

優秀賞「セシボ」(1-7 地域)

『セシボ』は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコンセプトにキッズデザインの考え方を取り入れ、「すべての世代にやさしい家づくり」を目指して開発した住宅です。環境問題、安全性、快適な室内環境、経済性、そして家族の絆と夢など、住宅が解決しなければならない問題を見つめ、「家そのもので出来ること」を“もっと ずっと”追求した住まいです。

●建物外皮・設備機器について

建物外皮性能は、外皮平均熱貫流率(UA値)、冷房期の平均日射熱取得率(η AC 値)とも 1-7 地域の各基準値をクリアする性能としました。暖冷房、換気設備等の設備機器は高効率機器を採用し、太陽光発電システムは、初期支出なしで導入可能な支援サービス「楽暮らし(ラクラシ)発電」を展開。その他、一次エネルギーの消費量を抑える性能・機器の活用と、創エネ設備を導入しやすいサービスを提案しています。

●多様な省エネルギー手法の導入について

エネルギーを使わない工夫としてパッシブエネルギーを活用しています。温度差換気を利用した「創風」、風の通りを考えた「通風」、窓の配置などを工夫して風を取り入れる「採風」などの工夫を採用。また、建物内に外部の影響を取り入れないため、屋根と壁には遮熱の工夫をし、南面の窓には日射遮蔽効果のあるシェードを採用するなど快適性とエコ生活を両立します。

また、キッチンや洗面などの水回りには節湯・節水に配慮した水栓、保温浴槽、節水型便器を採用し、照明はLEDとしました。さらに、幼児期からの環境意識醸成のため、子どもでもスイッチを押しやすい「高さ 1mのスイッチ」などにより省エネルギーに配慮しています。



<通風・創風イメージ>

●省エネルギー住宅普及への取り組み

アイフルホームは、ZEHビルダー登録事業者として 2020 年度までのZEH住宅普及目標を 50%以上と掲げ、省エネ住宅の普及に取り組んでいます。2016 年度は 5%の目標に対し 9%を達成しました。さらに、未来へ向けて持続可能な社会を作るための研究開発や、オリジナルCADによるZEH判定・生涯シミュレーションの提案など、様々な方法で省エネ住宅の普及に取り組んでいます。



(左)アイフルホーム「セシボ」外観

(右)実験住宅「次世代レジリエンスホーム『家+X』外観

ZEH判定レポート